

# 基礎数学B 講義演習プリント・出席確認

担当 石川 剛郎(いしかわ ごうお)(2015年度後期)

No. 12 西暦2015年11月6日(金2)

学生番号

氏名

12-1.

$\mathbf{R}$  の開区間  $A = (0, 1)$  が全有界であることを示せ。ただし、 $\mathbf{R}$  には Euclid 距離を入れる。

$\forall \varepsilon > 0$  に対し  $m \in \mathbf{N}$  を  $\frac{1}{m} < \varepsilon$  となるようにとる。

$a_i = \frac{i}{m}$  ( $1 \leq i \leq m-1$ ) とおく。このとき

$A \subset \bigcup_{i=1}^{m-1} B(a_i, \varepsilon)$  である。

なぜなら  $x \in A$  に対して  $\exists j$  ( $0 \leq j \leq m-1$ ),  $\frac{j}{m} < x \leq \frac{j+1}{m}$  となる。

$\exists i$  ( $1 \leq i \leq m-1$ ) がある  $|x - a_i| < \frac{1}{m} < \varepsilon$  ( $j=0$  のときは  $i=j+1$ )

12-2.

$(X, d)$  を距離空間とし、 $A, B \subset X$  を点列コンパクト集合とする。このとき次を示せ。

(1)  $A \cup B$  は点列コンパクトである。

(2)  $A \cap B$  は点列コンパクトである。

(1)  $x(m)$  を  $A \cup B$  上の点列とする。このとき  $\{m \in \mathbf{N} \mid x(m) \in A\}$  または  $\{m \in \mathbf{N} \mid x(m) \in B\}$  は無限集合となる。(たゞ)  
 $x(m)$  の部分列で  $A$  上の点列または  $B$  上の点列が取れる  
いすれにせよ、たゞにその部分列で  $A \cup B$  の上に収束するものがとれる。

(2)  $x(m)$  を  $A \cap B$  上の点列とする。 $x(m)$  は  $A$  上の点列だから  
その部分列で  $A$  の上に収束するものがとれる。その部分列は  $B$  上の点列

「数学の仕組み」に関するメモ たゞ、さすがにその部分列で  $B$  上の点列は収束

1.  $(X, d)$  を距離空間とし、 $A \subset X$  とするとき、 $A$  が全有界であるとは、「任意の  $\varepsilon > 0$  に対し、 $A$  に属する有限個の点  $a_1, \dots, a_p$  が存在して、 $A \subset B(a_1, \varepsilon) \cup \dots \cup B(a_p, \varepsilon)$  となること」である。  
任意の  $\varepsilon > 0$  に対し、 $m \in \mathbf{N}$  を  $\frac{1}{m} < \varepsilon$  となるようにとり、区間  $(0, 1)$  の  $m$  等分点を考えるとよい。

2.  $A$  が点列コンパクトであるとは、「 $A$  の任意の点列について、 $A$  の点に収束するような部分列を選べることができる」とある。

$A \cup B$  の点列が与えられたとき、その部分列で、 $A$  の点列になるか、 $B$  の点列になるようなものが取れる。いすれにせよ、さらにその部分列を考えれば、 $A$  の点か、または、 $B$  の点に収束する。

$A \cap B$  の点列が与えられたとき、それは、 $A$  の点列であるから、 $A$  の点に収束するような部分列が取れる。それはまた  $B$  の点列でもあるから、さらに部分列をとれば、 $B$  の点に収束する。収束する点は一意的に定まるから（収束する点列の部分列は同じ点に収束するから）、 $A \cap B$  の点に収束する。

コラム。次のことは、(微分積分でも) 当たり前のように使っている。

- 点列  $x(m)$  が点  $z$  に収束し、点  $z'$  にも収束するならば、 $z = z'$  である。
- 点列  $x(m)$  が点  $z$  に収束するならば、その任意の部分列も同じ点  $z$  に収束する。
- 「点列  $x(m)$  のある部分列が点  $z$  に収束する」  $\Leftrightarrow$  「任意の  $\varepsilon > 0$  に対して、 $\{m \in \mathbf{N} \mid x(m) \in B(z, \varepsilon)\}$  が無限集合」

これらは、収束の定義、部分列の定義（と距離の性質）から、一般の距離空間でも証明することができる。

するものがとれる。このとき又二つだから  $\exists \in A \cap B$